

国際平和・観光振興対策に係る主要事業について

令和2年7月21日
 地域政策局
 商工労働局
 土木建築局

項目	事業概要	取組状況等																			
<p>1 国際平和拠点ひろしま構想の推進</p> <p>世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結び付け、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。</p>	<p>核兵器廃絶【地域政策局】 20,756千円</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="568 416 824 480">ひろしまラウンドテーブル開催事業</td> <td data-bbox="831 416 1400 480">北東アジアの核軍縮に焦点を当てた円卓会議の広島開催</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 485 824 549">ひろしまレポート作成事業</td> <td data-bbox="831 485 1400 549">各国の核軍縮・不拡散の取組状況を調査・研究し、取りまとめ</td> </tr> </table> <p>復興・平和構築【地域政策局】 4,765千円</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="568 580 824 676">平和構築人材育成強化事業</td> <td data-bbox="831 580 1400 676">高校生を対象にした国際平和貢献人材育成プログラム「グローバル未来塾 in ひろしま」の実施</td> </tr> </table> <p>持続可能な平和支援メカニズム【地域政策局】 39,532千円</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="568 724 824 820">拠点構想推進事業</td> <td data-bbox="831 724 1400 820">国際平和拠点ひろしま構想推進委員会の開催等 NPT運用検討会議への参加(シンポジウムの開催、メッセージ発信)等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 825 824 920">研究拠点形成推進事業</td> <td data-bbox="831 825 1400 920">海外研究機関との共同研究の実施やその充実のための核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催</td> </tr> </table> <p>被爆・終戦75周年記念事業【地域政策局】 176,353千円 (174,353千円)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="568 952 824 1319" rowspan="4">賛同者拡大</td> <td data-bbox="831 952 1400 1016">2020 世界平和経済人会議ひろしまの開催【新規】(オンライン開催への変更)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="831 1021 1400 1053">国際会議の広島開催支援【新規】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="831 1058 1400 1153">核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミーの開催(オンライン開催への変更及び来広研修の縮小・延期)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="831 1158 1400 1254">賛同者の飛躍的拡大を目指したウェブサイトのコンテンツ充実と効果的なプロモーションの実施【一部新規】(一部中止)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="568 1259 824 1323">ひろしまジュニア国際フォーラム等を活用した平和を学ぶ機会の提供【新規】</td> <td data-bbox="831 1259 1400 1323"></td> </tr> </table> <p>ひろしまジュニア国際フォーラム【地域政策局】 54,000千円</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="568 1355 824 1450">2020 ワールド・ピース・ジュニアフォーラムの開催</td> <td data-bbox="831 1355 1400 1450">次世代の人材育成を行うため、全国連加盟国(193か国)等の高校生等が国際平和についての討議や交流を行う国際会議の開催(オンライン開催(12月頃)へ変更)</td> </tr> </table>	ひろしまラウンドテーブル開催事業	北東アジアの核軍縮に焦点を当てた円卓会議の広島開催	ひろしまレポート作成事業	各国の核軍縮・不拡散の取組状況を調査・研究し、取りまとめ	平和構築人材育成強化事業	高校生を対象にした国際平和貢献人材育成プログラム「グローバル未来塾 in ひろしま」の実施	拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進委員会の開催等 NPT運用検討会議への参加(シンポジウムの開催、メッセージ発信)等	研究拠点形成推進事業	海外研究機関との共同研究の実施やその充実のための核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催	賛同者拡大	2020 世界平和経済人会議ひろしまの開催【新規】(オンライン開催への変更)	国際会議の広島開催支援【新規】	核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミーの開催(オンライン開催への変更及び来広研修の縮小・延期)	賛同者の飛躍的拡大を目指したウェブサイトのコンテンツ充実と効果的なプロモーションの実施【一部新規】(一部中止)	ひろしまジュニア国際フォーラム等を活用した平和を学ぶ機会の提供【新規】		2020 ワールド・ピース・ジュニアフォーラムの開催	次世代の人材育成を行うため、全国連加盟国(193か国)等の高校生等が国際平和についての討議や交流を行う国際会議の開催(オンライン開催(12月頃)へ変更)	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際平和拠点ひろしま構想の策定(H23) ○ 国際平和拠点ひろしま構想推進計画(2019-2021)の策定(H31.3) ○ ひろしまラウンドテーブルの開催(H25～) ○ 「ひろしまレポート」の公表(H25～) ○ 核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミーの開催(R1.8) ○ 「グローバル未来塾 in ひろしま」を開講(H28～) ○ オンライン学習講座を開講(H30～) ○ ひろしまジュニア国際フォーラムの開催(H28～) ○ 欧州の主要研究機関との連携協定を締結(UNIDIR, SIPRI, PRIO, Chatham House) ○ 核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催(R1.8) ○ 国際平和のための世界経済人会議の開催(H25, 28, 30, R1) ○ オバマ米国大統領の広島訪問(H28.5) ○ ローマ教皇の広島訪問(R1.11) ○ 「国際平和拠点ひろしま」ウェブサイトの開設(R1.10) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被爆・終戦75周年を迎え、広島への注目が集まるため、賛同者の飛躍的拡大に向けて、平和への取組を集中的に実施・発信 ○ 新型コロナウイルスの事業への影響を最小限にとどめ、オンライン等で実施する。(一部調整中)
ひろしまラウンドテーブル開催事業	北東アジアの核軍縮に焦点を当てた円卓会議の広島開催																				
ひろしまレポート作成事業	各国の核軍縮・不拡散の取組状況を調査・研究し、取りまとめ																				
平和構築人材育成強化事業	高校生を対象にした国際平和貢献人材育成プログラム「グローバル未来塾 in ひろしま」の実施																				
拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進委員会の開催等 NPT運用検討会議への参加(シンポジウムの開催、メッセージ発信)等																				
研究拠点形成推進事業	海外研究機関との共同研究の実施やその充実のための核軍縮研究国際ネットワーク会議の開催																				
賛同者拡大	2020 世界平和経済人会議ひろしまの開催【新規】(オンライン開催への変更)																				
	国際会議の広島開催支援【新規】																				
	核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミーの開催(オンライン開催への変更及び来広研修の縮小・延期)																				
	賛同者の飛躍的拡大を目指したウェブサイトのコンテンツ充実と効果的なプロモーションの実施【一部新規】(一部中止)																				
ひろしまジュニア国際フォーラム等を活用した平和を学ぶ機会の提供【新規】																					
2020 ワールド・ピース・ジュニアフォーラムの開催	次世代の人材育成を行うため、全国連加盟国(193か国)等の高校生等が国際平和についての討議や交流を行う国際会議の開催(オンライン開催(12月頃)へ変更)																				

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																																	
<p>2 観光地ひろしまの推進</p> <p>地域経済の活性化に向け、「ひろしま観光立県推進基本計画」に基づき、①国内外からの観光客数の増加、②日帰り客を宿泊客にシフト（特に消費額単価の高い外国人宿泊客の増加）させることなどによる観光消費額単価の上昇、③リピーターや高評価の発信に繋がる満足度の向上、に取り組むことにより、観光消費額の増大を図る。</p>	<p>観光地ひろしまの推進【商工労働局】 3,974,417千円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きな影響を受けた観光関連事業者の経営支援を行うとともに、安全・安心な観光地づくりに取り組む。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、県内・近隣県・全国へと段階的に観光誘客を促進し、観光需要の回復を図る。</p> <p>なお、令和2年4月に、広島県観光連盟と県観光課が一体的に観光振興に取り組むため、新たな観光推進体制を構築した。</p> <p>《事業内容》</p> <p>○ 観光・飲食関連事業者への経営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光・飲食関連事業者の事業継続を図るため、クラウドファンディング（インターネット上で取組等を発信し、応援いただける方から資金を集める仕組み）を活用した資金調達を支援 県内観光関連事業者が行う、新しい生活様式に対応した、新たな魅力ある観光プロダクトの開発経費に対する補助 県内宿泊施設が行う宿泊割引プラン及び旅行業者が行う広島県内旅行割引プランの造成支援 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>○ 観光客数・宿泊客数の推移</p> <p style="text-align: right;">（単位：万人、億円、円/人）</p> <table border="1" data-bbox="1451 357 2092 727"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総観光客数</td> <td>6,181</td> <td>6,618</td> <td>6,777</td> <td>6,989</td> <td>6,504</td> <td>6,719</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客数</td> <td>105</td> <td>166</td> <td>201</td> <td>243</td> <td>275</td> <td>276</td> </tr> <tr> <td>宿泊客数</td> <td>857</td> <td>942</td> <td>959</td> <td>963</td> <td>990</td> <td>1,009</td> </tr> <tr> <td>外国人宿泊者数</td> <td>44</td> <td>74</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>124</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>観光消費額</td> <td>3,610</td> <td>3,865</td> <td>4,062</td> <td>4,112</td> <td>4,023</td> <td>4,410</td> </tr> <tr> <td>観光消費額単価</td> <td>5,840</td> <td>5,840</td> <td>5,884</td> <td>5,960</td> <td>6,185</td> <td>6,562</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外国人宿泊者数は、観光庁宿泊旅行統計調査結果</p> <p>○ 観光・飲食関連事業者への経営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光関連事業者に対する、クラウドファンディングを活用した資金調達支援 <ul style="list-style-type: none"> 支援希望事業者募集：R2.6.9～7.31 支援者募集（クラウドファンディング募集開始）R2.6.26～11.30 クラウドファンディングを活用した、飲食事業者への25%のプレミアム付き飲食チケットの発行による支援 <ul style="list-style-type: none"> 飲食事業者の募集：R2.6.22～7.31 プレミアムチケット申込：R2.7.20～ 県内宿泊施設が行う宿泊割引プラン及び旅行業者が行う広島県内旅行割引プランの造成支援 <ul style="list-style-type: none"> 広島県民対象宿泊割引プラン：R2.7～ 広島県民対象旅行割引プラン：R2.7～ 	区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	総観光客数	6,181	6,618	6,777	6,989	6,504	6,719	外国人観光客数	105	166	201	243	275	276	宿泊客数	857	942	959	963	990	1,009	外国人宿泊者数	44	74	84	93	124	132	観光消費額	3,610	3,865	4,062	4,112	4,023	4,410	観光消費額単価	5,840	5,840	5,884	5,960	6,185	6,562
区分	H26	H27	H28	H29	H30	R 1																																													
総観光客数	6,181	6,618	6,777	6,989	6,504	6,719																																													
外国人観光客数	105	166	201	243	275	276																																													
宿泊客数	857	942	959	963	990	1,009																																													
外国人宿泊者数	44	74	84	93	124	132																																													
観光消費額	3,610	3,865	4,062	4,112	4,023	4,410																																													
観光消費額単価	5,840	5,840	5,884	5,960	6,185	6,562																																													

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光プロダクトの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内観光関連事業者が行う新しい生活様式に対応した、新たな魅力ある観光プロダクトの開発経費に対する補助【再掲】 ・ 専門家による観光プロダクトのブラッシュアップ ・ 夜神楽公演，縮景園での夕景開園の実施 ・ 富裕層向けの観光プロダクト開発 ・ 訴求力のある多様な体験プログラムの開発やブラッシュアップ ○ 受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心な観光地づくりに向けた受入環境の整備 ・ 観光客の満足度向上に向けた観光地のトイレ整備（自然公園等の県有施設整備と市町補助）の推進 ・ 宮島口における円滑な駐車及び交通誘導に向けた取組 ・ 広島県地域通訳案内士の育成及び活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光プロダクトの開発 <ul style="list-style-type: none"> [～R1年度の取組] ・ 外国人観光客向け夜神楽公演(R1:36回,計1,798人) ・ 縮景園における早朝開園の実施(R1:13回,計437人) ・ ナイトエンターテイメント公演(R1:7回,計202人) ・ 市町と連携して取り組む観光資源の磨き上げ(R1:12市町14事業) ・ 民間事業者が行う外国人観光客向け観光プロダクト開発への支援(R1:4事業者) [R2年度の取組] ・ 新たな観光プロダクト開発支援補助金 補助金交付申請受付:R2.6.30～8.31 ○ 受入環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> [～R1年度の取組] ・ 広島県「みんなで」おもてなし宣言(H26.8～)42,076人,1,920企業・団体(R2.3現在) ・ 外国人観光客の受入環境向上のための,飲食店や宿泊施設向けインバウンド対策セミナー,おもてなしトイレセミナーの実施(R1:計5回) ・ 観光関係事業者と連携した広島県おもてなし向上ネットワーク会議の設置(H28.5～) ・ 広島県地域通訳案内士の育成 登録人数64人(R2.3現在)

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誘客促進（プロモーション等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内宿泊施設が行う宿泊割引プラン及び旅行業者が行う広島県内旅行割引プランの造成支援【再掲】 ・ 県内周遊を促進し，県内観光地の新たな魅力を再発見してもらうための，県民を対象としたキャンペーンの実施 ・ 近隣県や全国へと段階的に誘客を促進するためのプロモーションの実施 ・ せとうち広島デスティネーションキャンペーンの実施 ・ 観光地ひろしまの露出確保に向けたメディアを活用した情報発信 ・ デジタルマーケティングの手法を活用したプロモーションの実施 ・ 現地エージェンシーを活用した情報発信の実施（国際プロモーション） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誘客促進（プロモーション等） <ul style="list-style-type: none"> [～R1年度の取組] ・ 国内プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 「おいしい！広島県」（H24. 3～，広告換算額約 32 億円） 「泣ける！広島県」（H26. 7～，広告換算額約 12 億円） 「カンパイ！広島県」（H27. 6～，広告換算額約 42 億円） ・ 国際プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 誘客重点 11 市場に向けた，WEBを中心とした情報発信や現地旅行会社・メディアを活用したプロモーションの実施（R1年度：125 万ページビュー） [R2年度の取組] ・ 県内宿泊事業者が行う宿泊割引プランや，旅行業者が行う広島県内旅行割引プランの造成支援，県内市町等と連携した，県民に対する県内周遊促進プロモーション「ミタイケンひろしま おトクに旅して，ひろしま応援！」の実施（R2. 7～） 【今後の取組予定】 ○ 引き続き，県内の観光・飲食関連事業者に対し，クラウドファンディングを活用した資金調達支援を実施（支援事業者や出資者の募集） ○ 現在，県民を対象とした県内周遊の誘客促進について，今後，新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら，中国地方をはじめとした近隣県，全国と段階的にエリアを拡大した誘客促進を実施 ○ 新たな観光プロダクト開発支援補助金を活用した，観光プロダクトの開発支援の実施 ○ 県内観光施設のAIカメラの設置等による，混雑状況を容易に確認できる環境の整備 等

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>3 広島空港の利用促進・利便性向上による観光客の誘致</p> <p>広島空港の航空ネットワークの充実や航空機利用の利便性向上を図ることにより、観光客の誘致を図る。</p>	<p>広島空港拠点性強化事業【土木建築局】 44,738千円</p> <p>航空ネットワークの拡充や航空機利用の利便性向上を図り、中国・四国地方の拠点空港としての競争力・拠点性を高めるため、航空会社等に対し、路線維持・拡充に向けた取組を実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エアポートセールス <ul style="list-style-type: none"> ・国内線及び国際線の新規路線就航・増便に向け、LCCを含めた各航空会社へのエアポートセールスを実施 ○ 国際定期路線利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・国際定期路線の利用促進を図るため、各路線の利用実態及び課題に応じた利用促進策を実施 ○ 地上支援業務の体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地上支援業務（グランドハンドリング）の体制整備を図るため、人材育成に対する支援を実施 ○ 国際定期路線緊急支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により運休している国際定期路線を維持するため、航空会社及び機内食製造業者に対し、固定経費の一部支援を実施。また、速やかな路線回復を図るため、航空会社に対し、必要となる経費（一般共用施設使用料等、運航便数に応じて必要となる変動経費）の一部支援を実施（航空会社への支援は予備費で措置） 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ R1.12.18から広島～バンコク線が週3便で就航 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線については、R2.3月上旬以降、減便が続いていたが、緊急事態宣言の解除を受け、6月から徐々に復便している。 ○ 国際線については3月下旬以降、全路線運休となっており、回復の見通しが立っていない。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際定期路線を維持するため、新型コロナウイルス感染症の回復状況を注視しながら、引き続き航空会社、機内食製造業者への緊急支援を実施。 ○ 国内外の観光需要やビジネス需要の動向を見極めながら、航空会社や関係機関とも連携し、タイムリーかつ効果的な利用促進の取組を実施。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
<p>4 「瀬戸内 海の道構想」の推進</p> <p>瀬戸内の魅力ある資源を生かして、瀬戸内ブランドを確立し、豊かな地域社会を実現するため、交流人口の拡大と地域経済の活性化を推進することにより、「瀬戸内 海の道構想」の実現を図る。</p>	<p>① 海の道プロジェクト推進事業【商工労働局】 151,554千円</p> <p>「せとうちDMO」と連携し、戦略的なプロモーションによって来訪意向を高めるとともに、外国人観光客の受入環境の整備、滞在コンテンツの充実等に取り組み、瀬戸内エリアへの誘客を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸内ブランドの形成（広域事業） <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人せとうち観光推進機構（せとうちDMO）による国内外へのプロモーションや観光プロダクト開発の促進 ・広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の形成促進 など ○ 観光資産の魅力づくり（他県連携事業） <ul style="list-style-type: none"> ・中国5県で連携した広域サイクリングコースのPR 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光庁の広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の認定（H27.6） ○ 「瀬戸内ブランド推進連合」を日本版DMO「一般社団法人せとうち観光推進機構」に発展改組し、推進体制を強化（H28.3～） ○ 国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・H26.10.26 参加者7,281名（大規模大会） ・H28.10.30 参加者3,539名（中規模大会） ・H30.10.28 参加者7,215名（大規模大会） <p>※R2大会中止</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般社団法人せとうち観光推進機構等と連携した国内外へのプロモーション等の強化及び瀬戸内の魅力を活かした観光プロダクトの開発 ○ 観光関連事業者等と連携した広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の形成促進のための受入環境の整備や滞在コンテンツの充実

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>② 瀬戸内海クルージング促進事業（客船誘致受入）</p> <p style="text-align: right;">【土木建築局】 39,708 千円</p> <p>クルーズ客船の誘致・受入体制の充実を図るため、平成 26 年に設立した「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に、誘致活動及びより良いおもてなしを実施する。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クルーズ客船の誘致・受入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 客船寄港時のおもてなし実施 ・ 船社等訪問 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ H26 年度に世界最大級の大型クルーズ客船の寄港が可能となるよう五日市埠頭を改良し、H27 から大型クルーズ客船の受入を開始した。 ○ 国内外の船社等へ積極的にセールスを行ったことで、R1 年度は新たに 6 隻の客船が広島港に初入港し、寄港数全体では過去最高となった。 ○ しかしながら、R2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセルで寄港予約数が前年度実績数よりも減少している。 <p>客船寄港数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H26 : 18 回 ・ H27 : 32 回 ・ H28 : 51 回 ・ H29 : 48 回 ・ H30 : 48 回 ・ R1 : 57 回 ・ R2 予約 : 30 回 (R2.7.6 現在) <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長期的観点から寄港増加を図るため、瀬戸内海という特性を生かしたクルーズ実施の増加、クルーズ発着港となるなど拠点性の向上、初来訪者とリピーターの双方に対応するため世界遺産以外の寄港地観光メニュー開発などに向け検討を行う。 ○ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、終息した段階で、船社や代理店に対し、従来の主要観光メニューに加え体験型ツアーの提案、世界最大級の客船受入可能な港湾施設のアピール等を行うほか、「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を中心に官民一体となって受入体制の充実を図る。

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等																																
	<p>③ 瀬戸内海クルージング促進事業（クルージング需要の掘り起し） 【土木建築局】 1,734 千円</p> <p>プレジャーボート等による海からの観光地訪問や瀬戸内海クルージングを促進するため、瀬戸内クルージングポータルサイトによる情報発信等により、クルージング需要の掘り起しを図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸内クルージングポータルサイトの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジター棧橋の基本情報等の発信 ・利用希望者からの問い合わせ対応等をワンストップで実施 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで、県内外への瀬戸内クルージングのPR、クルージング環境の創出、ビジター受入棧橋の拡充等に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内クルージングポータルサイト開設 (H24 年度) ・ボートショー出展、県外マリーナ訪問、ガイドブック配布 (H25 年度～) ・体験乗船会への助成 (H25 年度～H27 年度) ・チャーターボート事業の創業支援 (H26 年度) ・宮島ビジターバースの供用開始 (H26 年度) ・瀬戸内クルージングポータルサイト情報の拡充 (棧橋情報の拡充、英語版ページ作成、スマートフォンページ作成など) (H27 年度) ○ 気象条件を受けることにより、利用隻数が左右される面はあるものの、おおむね利用は増加傾向にあり、約半数は県外からの利用である。 <table border="1" data-bbox="1456 893 2060 1212"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用隻数</th> <th>(実隻数)</th> <th>県外利用割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・H25</td> <td>3,593 隻・日</td> <td>(2,009 隻)</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>・H26</td> <td>4,961 隻・日</td> <td>(2,214 隻)</td> <td>54.7%</td> </tr> <tr> <td>・H27</td> <td>5,254 隻・日</td> <td>(2,350 隻)</td> <td>60.8%</td> </tr> <tr> <td>・H28</td> <td>5,047 隻・日</td> <td>(2,451 隻)</td> <td>49.7%</td> </tr> <tr> <td>・H29</td> <td>6,422 隻・日</td> <td>(2,517 隻)</td> <td>55.8%</td> </tr> <tr> <td>・H30</td> <td>5,480 隻・日</td> <td>(2,249 隻)</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>・R1</td> <td>4,708 隻・日</td> <td>(1,968 隻)</td> <td>51.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「隻・日」は利用日数でカウントした延べ隻数</p> <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クルージング需要者の掘り起しに向けガイドブックの拡充など、引き続き、県内外に瀬戸内海クルージングのPR等を行っていく。 	年度	利用隻数	(実隻数)	県外利用割合	・H25	3,593 隻・日	(2,009 隻)	51.0%	・H26	4,961 隻・日	(2,214 隻)	54.7%	・H27	5,254 隻・日	(2,350 隻)	60.8%	・H28	5,047 隻・日	(2,451 隻)	49.7%	・H29	6,422 隻・日	(2,517 隻)	55.8%	・H30	5,480 隻・日	(2,249 隻)	50.0%	・R1	4,708 隻・日	(1,968 隻)	51.8%
年度	利用隻数	(実隻数)	県外利用割合																															
・H25	3,593 隻・日	(2,009 隻)	51.0%																															
・H26	4,961 隻・日	(2,214 隻)	54.7%																															
・H27	5,254 隻・日	(2,350 隻)	60.8%																															
・H28	5,047 隻・日	(2,451 隻)	49.7%																															
・H29	6,422 隻・日	(2,517 隻)	55.8%																															
・H30	5,480 隻・日	(2,249 隻)	50.0%																															
・R1	4,708 隻・日	(1,968 隻)	51.8%																															

項 目	事 業 概 要	取 組 状 況 等
	<p>④ みなとの賑わいづくり事業 【土木建築局】 1,979,000千円</p> <p>「瀬戸内ブランド」の形成に資する「瀬戸内 海の道構想」の一環として、多くの人を訪れ、憩い、楽しめる、活気と賑わいのある魅力的な空間を創出するため、みなとを臨海部の賑わい拠点として整備し、観光・交流機能の強化を図る。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厳島港宮島口地区 <ul style="list-style-type: none"> ・浮棧橋，アクセス道路等の整備 ○ 広島港宇品地区 <ul style="list-style-type: none"> ・岸壁の延伸 ・入出国審査スペースを備えたクルーズターミナルの整備 	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港（宇品・出島地区） <ul style="list-style-type: none"> ・宇品・出島地区において、賑わい空間の創出を図るため、海辺に点在する魅力的な商業施設や緑地等を回遊する環境整備として、これまでプロムナード、案内施設、照明施設の整備やトイレを改修した。また、波止場公園の改修に着手した。 ・H30年度の波止場公園，広島みなと公園の利用者数は約13万人でありH24年度の約8万人に比べ増加している。 ・また、宇品地区ではクルーズ船の寄港が年々増加しており、R1年度の寄港隻数は50隻となっている。 ○ 厳島港 <ul style="list-style-type: none"> ・宮島口地区において、新たな浮棧橋及び旅客ターミナルを整備した。 ・胡町地区において、バリアフリー化を図るため、回廊を整備した。 <p>【今後の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島港（宇品・出島地区） <ul style="list-style-type: none"> ・宇品地区について、大型クルーズ船の受入に対応した新たなクルーズターミナルを整備する。 ○ 厳島港（宮島口地区） <ul style="list-style-type: none"> ・港湾利用者の利便性・快適性の向上や、くつろぎ・賑わい空間の創出を図るため、アクセス道路や緑地等を整備する。

項目	事業概要	取組状況等
<p>5 県内の観光資源をつなぐネットワークの形成</p> <p>本県は、豊かな自然や歴史的な町並み、風光明媚なサイクリングロードなど、国内外からの観光客を呼び込むための多彩で魅力ある観光資源を多数有しており、本県の強みである井桁状の高速道路ネットワークを最大限活用することにより、更なる観光交流人口や観光消費額の増加が期待されている。</p> <p>このため、観光周遊を促進する道路ネットワークの強化と、サイクリングロードのブランド力向上に資する取組を推進する。</p>	<p>観光周遊を促進する道路ネットワークの強化 【土木建築局】(主な箇所の予算額計) 1,915,800千円</p> <p>《事業内容》 (1) 観光周遊を促進する道路ネットワークの強化 ・ 高速道路ICから観光地への道路整備 ・ 観光地間の道路整備</p> <p>【イメージ図】</p>  <p>※ 観光地：海水浴場、スキー場、サイクリングロードを含む。</p> <p>(2) サイクリングロードのブランド力向上 瀬戸内サイクリングロード及びやまなみ街道サイクリングロードの利用環境の向上と情報発信 等</p>	<p>【これまでの取組状況・成果】</p> <p>(1) 観光周遊を促進する道路ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光周遊を促す道路ネットワークを形成する一般国道432号竹原バイパス等の整備を推進するなど、集客・交流機能の強化に取り組んでいる。 <p>(2) サイクリングロードのブランド力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ しまなみ海道は官民が連携し、走行環境、受入環境の充実や国内外への情報発信を行っており、R1.11には、国からナショナルサイクルルートに指定された。また、サイクリング来訪客数は、過去6年間で約5割増加し、道路整備計画2016における目標(R2:約35万人)を上回る状況となっている。(H26:約25万人(推計値)→R1:約38万人(推計値)) ○ やまなみ街道その他県内のサイクリングロードについても、利用環境を向上し、利用者の増加を図るため、路面案内標示等の設置や様々な情報発信等の取組を行っている。 <p>【今後の取組予定】</p> <p>(1) 観光周遊を促進する道路ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高速ICから観光地までの道路や観光地をネットワーク化する道路の整備を進める。 ○ 移動時間の短縮により観光地での滞在時間を拡大し、来訪者の満足度向上等に寄与する。 <p>(2) サイクリングロードのブランド力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と一体となって、様々なハード、ソフト対策を推進する。 ○ ナショナルサイクルルートに指定されたしまなみ海道サイクリングロードにおいては、自転車走行環境の整備や案内標識の設置等を行っていく。 ○ また、関係機関と連携し、しまなみ海道自転車通行料金無料化継続に取り組む。 ○ やまなみ街道サイクリングロードにおいては、路面案内標示等が未整備の周遊コースについて、関係機関と連携し、順次整備を行っていく。